

2016 FIMアジアロードレース選手権シリーズ 第3戦 6月3日(金)～5日(日)開催のご案内



株式会社モビリティランドは、鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)にて2016年6月3日(金)～5日(日)に、「2016 FIMアジアロードレース選手権 第3戦」を開催いたします。

本選手権はマレーシア、タイ、インドネシア、インド、そして日本を舞台に年間全6戦が行われます。選手は開催国を中心にアジア、オセアニアの12カ国から80名を超える若手、ベテラン選手が多数参戦し、チャンピオン争いを繰り広げます。

国内では唯一の開催地となる鈴鹿サーキット。2013年以来4回目の開催となる今シーズンは、「スーパースポーツ600cc(SS600)」、「アジアドリームカップ」、「アジアプロダクション250」、「スズキ・アジア・チャレンジ」の4クラスで、熱き戦いが繰り広げられます。

なお、本イベントはゆうえんちモトピア入園料(大人1,700円 子ども800円 幼児600円)で、観戦およびパドックエリア(ピットビル2階・ホスピタリティラウンジも開放)まで入場可能となり、白熱したレースをお楽しみいただけます。



2015年スーパースポーツ600cc(レース2)のスタートシーン



2015年スーパースポーツ600ccのレースシーン

開催概要

- 大会名称 2016 アジアロードレース選手権シリーズ 第3戦
(英文表記) 2016 ASIA ROAD RACING CHAMPIONSHIP ROUND 3
- 開催日程 2016年6月3日(金)フリー走行
6月4日(土)予選
6月5日(日)決勝
- 会場 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース フルコース(5.821km)
- 主催 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)／株式会社モビリティランド
- 後援 観光庁、三重県、鈴鹿市、鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会、
一般社団法人 鈴鹿市観光協会、鈴鹿商工会議所

株式会社モビリティランド

東京オフィス 〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9 第45興和ビル9F TEL(03)5770-6432 FAX(03)5770-6435 E-mail media@mobilityland.co.jp
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

レース紹介・見どころ

昨年チャンピオンの高橋裕紀をはじめ多くの日本人ライダーも参戦する アジアロードレースの最高峰「スーパースポーツ600cc」



高橋裕紀選手

アジアロードレース選手権最高峰クラスである「スーパースポーツ600cc (SS600)」はレース専用の600ccフルカウルスポーツバイクで行われる。昨年のシリーズチャンピオンで、全日本ロードレース選手権ではJSB1000クラスに参戦する高橋裕紀や、ロードレース世界選手権125ccクラスでの優勝経験をもつ小山知良など、多くの日本人ライダーも参戦する。

マレーシアで開催された第1戦では、昨年はMoto2™クラスに参戦し、鈴鹿8耐の参戦経験もあるアズラン・シャー・カマルザマンガ2レースともに優勝。レース1では小山が、レース2では高橋が2位に入った。

世界へのステップアップを目指すアジア人ライダーの熱き戦いが繰り広げられる「アジアドリームカップ」 世界でも重要性の高まる250ccクラス「アジアプロダクション250」

他クラスでも世界へのステップアップや鈴鹿8耐を目指すアジア人ライダーの熱い戦いが繰り広げられる。

昨年に引き続き、鈴鹿大会のみの特別戦、2時間耐久のCBR250Rワンメイクレース「Asia Dream Endurance Race」として開催される「アジアドリームカップ」からは、前年チャンピオンがMoto3™クラスやCEVヨーロッパ選手権へステップアップしている。

昨年より新設された「アジアプロダクション250」は、ワールドスーパーバイクでもクラスの追加が検討され、国内でも今年より「JP250クラス」がスタートするなど、世界的にも重要性が高まっている250ccのロードレーサーでレースが開催される。



2015年アジアドリームカップのレースシーン



2015年アジアプロダクション250のレースシーン

加賀山就臣選手が企画運営する「スズキ・アジアン・チャレンジ」には、芳賀紀行の長男・瑛大が参戦



芳賀瑛大選手

加賀山就臣選手の企画・運営のもと、昨年より新設された「スズキ・アジアン・チャレンジ」は、アジア地区から将来のMotoGP™ライダーを育成するためのプログラムとして設けられ、ステップアップを目指す8カ国のライダー達が熱戦を繰り広げる。

このクラスには、スーパーバイク世界選手権などで活躍し、今シーズンSS600クラスにも参戦するベテランライダー芳賀紀行の長男・瑛大(あきと・14歳)が参戦する。第1戦のレース1は10位、レース2で6位となり、日本人選手では最高位のランキング7番手につけ、地元日本ラウンドでの活躍が期待される。

株式会社モビリティランド

東京オフィス 〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9 第45興和ビル9F TEL(03)5770-6432 FAX(03)5770-6435 E-mail media@mobilityland.co.jp
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>